アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

●国際文化学部　英語学科

〈教育目的と目標〉

英語学科は、英語圏の言語・文学・文化のあり方の探究をとおして、文化的・社会的事象に関する理解力とコミュニケーション能力を身につけた、国際的視野を持つ人間を育てることを目的としています。この目的を達成するために、以下の目標を掲げています。

1．英語運用能力、すなわち英語コミュニケーションのための基礎能力(リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング)習得と、これらを応用し、論文作成や討議、発表などができる技能の育成を目指す。
2．英語圏の国々をはじめとする諸外国の言語・文学・文化を学び、その背景にある社会や歴史に関する理解を深める力を養う。
3．英語運用能力と国際的視野を備え、他者と共働して社会に貢献できる力を育てる。

〈アドミッション・ポリシー〉

英語学科では、本学科の教育目的と目標を理解し、本学科での学びをとおして成長し、自立した人間として社会に積極的に関わる意志と能力を身につけたいと願う者を、入学者として受け入れます。多様な入試制度により、次のような者を選抜します。

1．英語に関心があり、英語の基礎的な学力・運用能力を持っている。目安としては、実用英語技能検定（英検）準２級以上の能力を持っている。
2．世界の言語や文化について理解を深めようとし、かつ、母語や自国の文化についても関心を持ち、他者と関わりながら自らの能力を高めたいと考えている。
3．国際的視野に立った幅広い教養と英語運用能力を身につけたいと考えている。

●国際文化学部　日本文化学科

〈教育目的と目標〉

日本文化学科は、日本語、日本文学、日本文化、社会を深く理解し、課題発見力・分析力・提言力・解決力を持ち、これらの能力を活かして文化と社会の発展に貢献する人間を育てることを目的としています。この目的を達成するために、以下の目標を掲げています。

1．言語に関わる能力を総合的に向上させることにより、自らの考えを発信し、他者と対話しながら、新しい価値を創造する力を育てる。
2．日本をはじめ世界の多様な文化について深く学び、広く人間社会全体について考える力を育てる。
3．現代社会の様々な課題について、解決の方向性を見出し、他者と協働し、地域・国際社会を発展させるための実践的な能力を育てる。

〈アドミッション・ポリシー〉

日本文化学科では、本学科の教育目的と目標を理解し、本学科での学びをとおして成長し、自立した人間として社会に積極的に関わる意志と能力を身につけたいと願う者を、入学者として受け入れます。多様な入試制度により、次のような者を選抜します。

1．「国語」の基礎的な学力を持っている。「地理歴史」「公民」の基礎的な学力を持っていることが望ましい。また、日本語の基礎的な運用能力を高めたいと願い、社会的な出来事に関心を持っている。
2．日本語、日本文学、日本文化について学ぶ意欲を持っている。
3．日本の芸術や社会制度などについて学び、地域や社会の発展のために貢献しようとしている。

●音楽学部　音楽学科

〈教育目的と目標〉

音楽学部音楽学科は、音楽をとおして豊かで文化的な生活を送ることができるように、精神文化の担い手として社会に貢献することができる音楽の専門家の育成を目的としています。この目的を達成するために、以下の目標を掲げています。

1．音楽に関する深い専門性と文化全般に関する広い教養や社会性を涵養する。
2．地域の文化の発展と、人々が生涯にわたって豊かな精神を育むことを支援する力を育てる。
3．人々の生活に音楽が果たす役割についての理解を深め、実践的に社会に貢献する能力を養う。

〈アドミッション・ポリシー〉

音楽学科では、本学科の教育目的と目標を理解し、本学科での学びをとおして成長し、自立した人間として社会に積極的に関わる意志と能力を身につけたいと願う者を、入学者として受け入れます。多様な入試制度により、次のような者を選抜します。

1．音楽をとおして健康で文化的な生活を実現するために自分の能力を活用しようとする意欲を持っている。
2．音楽の学びを支える根幹としての日本語・外国語についての関心を持っている。
3．〈演奏表現コース〉に進もうと考えている場合には、演奏・作曲に関する基礎的な力とそれらを学ぶ意欲、〈音楽文化コース〉に進もうと考えている場合には、世界の音楽に関する基礎的な知識と音楽に関連する文化・マネジメントに対する関心を持っている。

●健康生活学部　食生活健康学科

〈教育目的と目標〉

食生活健康学科は、人々の健康的な生活を支援するため、実践的能力を備えた管理栄養士の育成を目的とします。この目的を達成するために、以下の目標を掲げています。

1．生活習慣病などの疾病の予防や治療に求められる高度な専門的知識と技能を備えた人材を育成する。
2．食生活の改善を目的とした栄養指導を通じて、生活の質の向上を図る実践的能力を備えた人材を育成する。
3．「食育」と「運動指導」に対応するため、栄養教諭および健康運動実践指導者を養成する。

〈アドミッション・ポリシー〉

食生活健康学科では、本学科の教育目的と目標を理解し、本学科での学びをとおして成長し、自立した人間として社会に積極的に関わる意志と能力を身につけたいと願う者を、入学者として受け入れます。多様な入試制度により、次のような者を選抜します。

1．ヒトの生物学全般、栄養素の生体内での化学反応などについて基礎的な理解がある。「生物」や「化学」を学んでいることが望ましい。いずれかを学んでいない場合には、入学後に積極的に学ぶ意欲を持っている。
2．食品と調理に関心を持ち、積極的に学ぶ意欲を持っている。
3．栄養・食生活・運動の改善をとおして、人々の健康の増進と豊かな生活の維持・発展に貢献しようとする意欲を持っている。

●健康生活学部　生活デザイン学科

〈教育目的と目標〉

生活デザイン学科は、人々の生活をより豊かにするために、デザインを創造する感性や技術を磨き、環境に配慮しながら健康で快適な生活を実現させることのできる専門的・実践的能力を持った人間を育成することを目的としています。この目的を達成するために、以下の目標を掲げています。

1．デザインの魅力を探り、人々の生活や社会・環境への配慮について学ぶ。
2．審美性・機能性などの個別要因と、生産・流通・廃棄などの社会的サイクルについて学び、豊かで持続可能な生活を実現するための知識と実践的能力を育てる。
3．様々な価値観と高度化・複雑化した生活の環境要素を理解し、自由で多様なライフスタイルを尊重したデザインを実現することのできる力を育てる。

〈アドミッション・ポリシー〉

生活デザイン学科では、本学科の教育目的と目標を理解し、本学科での学びをとおして成長し、自立した人間として社会に積極的に関わる意志と能力を身につけたいと願う者を、入学者として受け入れます。多様な入試制度により、次のような者を選抜します。

1．デザインに関心があり、コンピュータの活用に興味を持っている。
2．オリジナルなデザインを目指すために、独創的で創造的な姿勢を持っている。
3．入学までに、芸術・デザイン・工芸関連の教科・科目をなるべく学んでおくことが望ましい。

●健康生活学部　子ども学科

〈教育目的と目標〉

子ども学科では、キリスト教の理念及び子どもの権利条約の理念にのっとり、子どもの発達を踏まえた支援を行い、社会に貢献できる専門職を養成することを目的としています。この目的を達成するために、以下の目標を掲げています。

1．現代社会において子どもや家庭の抱えている生活問題とその解決の在り方を社会全体との関係性のなかで理解する。
2．乳幼児期を人格形成にとって重要な時期と位置づけ、子どもの最善の利益を考慮して発達を支援することのできる専門的知識、技術、実践力を育成する。
3．子どもを取り巻く家庭、地域、社会についての理解を深め、広い視野に立って社会の福祉と発展に貢献できる力を育成する。

〈アドミッション・ポリシー〉

子ども学科では、本学科の教育目的と目標を理解し、本学科での学びをとおして成長し、自立した人間として社会に積極的に関わる意志と能力を身につけたいと願う者を、入学者として受け入れます。多様な入試制度により、次のような者を選抜します。

1．子どもや家庭を支援する専門職になる意欲を持っている。
2．子どもの保育・教育・福祉・保健・心理・文化に関心を持っている。
3．「国語」「英語」「地理歴史」「公民」「数学」「生物」「化学」の基礎的な学力をつけておくことが望ましい。

●看護学部　看護学科

〈教育目的と目標〉

看護学部看護学科は、看護専門職として人々の健康と生活を支援するために求められる知識、技術、態度、柔軟な思考力、職務遂行能力を有し、チームで協働しながら自律的に看護できる人間を育成することを目的としています。この目的を達成するために、以下の目標を掲げています。

1．キリスト教の理念により、生命の尊厳に基づいた倫理観と人々の心に共感する豊かな人間性を養う。
2．対象となる人々やその家族、地域の人々の健康状態を把握し、科学的根拠に基づく看護を実践する能力を養う。
3．保健・医療・福祉の各分野で連携・協働し、看護専門職として実践できる能力を養う。
4．国内外の医療や異文化を理解し、国際的に活動できる基本的姿勢を養う。
5．看護専門職として誇りと責任をもって、常に自己研鑽し続ける能力を養う。

〈アドミッション・ポリシー〉

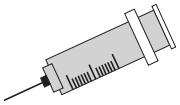
看護学科の教育目的と目標を理解し、本学科の学びをとおして成長し、自律した人間として社会に貢献することを目指す者を、入学者として受け入れます。多様な入試制度により、次のようなものを選抜します。

1．人を敬い、思いやる心を大切にすることができる。
2．多様な現象に興味をもち、物事を探求しようとする姿勢がある。
3．人々の健康および健康を支えている社会的背景に関心をもっている。
4．看護を学ぶための基盤として、言語（「国語」「英語」）、自然科学（「数学」「生物」「化学」「物理」）の基礎的な学力をつけておくことが望ましい。

食生活健康学科 および 看護学科への入学を希望されている皆様へ

現在、日本環境感染学会の医療関係者のためのワクチンガイドラインでは、院内感染防止と安全確保のために、病院実習を行う学生は、小児感染症（麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎）に対する免疫の有無を確認することが必要と示されています。そのため本学では、以下のように対応していますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

詳細につきましては別途、合格者宛に通知いたします。



◆**食生活健康学科**への入学を希望される場合は、麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎のワクチン接種履歴をご確認下さい。入学後に接種履歴を調査いたしますので、必要な書類（母子健康手帳など）の準備をお願いいたします。詳細につきましては、合格者に別途、通知いたします。

問い合わせ先
・食生活健康学科準備室
TEL：095－820－6026

◆**看護学科**への入学を希望される場合は、入学前に麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体検査を受けて、抗体価を確認していただき、基準値を満たさない場合はワクチン接種が必要となります。
入学前に、検査結果の書類を提出していただきます。

問い合わせ先
・看護学部事務室
TEL：0957－27－3005